

第47回 宇部市廃棄物減量等推進審議会議事録

・日時 平成24年8月3日(金) 14時から15時20分

・場所 宇部市役所 4階 第2・3・4委員会室

・出席委員

(会長)	今 井 剛	(副会長)	白 井 恵 次
	木 下 昇		渡 壁 正 英
	土 井 幸 江		藤 井 朋 子
	長 谷 川 耕 二		時 田 洋 輔
	竹 中 敏 恵		千 々 松 智 恵
	青 木 雅 史		甲 斐 裕 紀
	田 中 康 司		原 田 佳 章
	岩 本 輝 行		岡 崎 嘉 子
	和 田 恵 実 子		

・欠席委員

鈴 木 春 菜

・事務局

市民環境部長	今 川 利 夫
市民環境部次長	白 石 光 芳
市民環境部次長兼環境保全センター施設課長	田 中 信 博
環境保全センター業務課長	伊 藤 真 吾
資源循環推進室長	森 朋 子
環境保全センター施設課長補佐	師 井 康 文
環境保全センター施設課長補佐	中 野 芳 和
環境保全センター業務課長補佐	有 田 洋 一
資源循環推進室主査	村 岡 和 弘
資源循環推進室主任	大 田 康 二

・資料

- 1 平成23年度総括表
 - 2 3Rの主な取組のH23年度実績について
- 参考 ごみ処理フロー

・次第・議事録

- 1 市民環境部長あいさつ
- 2 委員の紹介
- 3 会長・副会長の選出
互選により、会長に今井委員、副会長に白井委員選出
- 4 会長、副会長あいさつ
- 5 議題
 - (1)平成23年度のごみ処理実績等について
 - (2)3Rの主な取組の進捗状況について
 - (3)その他

会長	本日の議題2件プラスその他ということでありまして、まず平成23年度のごみ処理実績等について、事務局から説明をお願いします。
事務局	審議会資料「平成23年度総括表」に基づき説明。
会長	どうもありがとうございました。ただいま23年度の総括表に基づいて、説明をいただきましたけれども、説明された内容に関してご質問等ございましたら、委員の皆様の方からお願いしたいと思います。いかがでしょうか。
会長	<p>それでは、私から。</p> <p>3番目の最終処分量の所で、焼却残渣が21年度を一番最低にして、22年度、23年度と増加傾向にございますけれども、これは焼却灰のことですよね。これで何か傾向等がございましたら、教えていただきたいと思います。逆にスラグの、一段上になりますけれども、スラグの発生量そのものは、発生量とは言わずに作った分だと思っておりますけれども、少し減っている所も見受けられますので、併せてご説明いただければ助かるのですが。</p>
事務局	<p>スラグの発生量については、21、22、23年とほとんど変わっておりません。それで、焼却残渣というのが、いわゆる焼却用の最後の不燃物、屑とか陶器屑とか砂、鉄・アルミ以外の金属こういう物を含んでおりまして、こういった物が増えたということになるかと思えます。</p> <p>スラグは、21年度が2,229t、それから22年度は2,229tでこれも同じです。23年度が2,146tです。その内の再利用、コンクリートとかアスファルトとか、そういった物への再利用が21年度が約55%で1,222t、22年度は約59%の1,308t、それから23年度は約57%で1,222tです。</p>
会長	ここの表のリサイクル率の所に書いてあるのは有効利用されたスラグであって、生成量その物ではない。
事務局	そうです。
会長	生成量は、どちらを見たら出ているのですか。
事務局	生成量は出ていないと思います。
会長	そうなんです。生成量そのものはあまり変わっていないということですね。
事務局	そうです。2,229tが2年続いて、2,146tという量です。
会長	リサイクルの方に直接回った分が、23年度が1,222tですね。
事務局	はい、そうです。
会長	ありがとうございました。
副会長	すいません、私からちょっと失礼な質問をさせていただきたいと思いますが、財政上の理由で飛灰ですね、これを平成22年度から、セメント原料とはしておられないという事ですが、これは、スラグの方に加算しているのかどうかお聞きしたいのですが。

事務局	加算しておりません。
副会長	では、飛灰は何処に出てくるのですかね。
事務局	焼却残渣に入っております。
副会長	入っていますね。
事務局	はい。
副会長	で、飛灰の処理は何処も非常に困っているのですが、セメントに入れないとすれば、あとどのような処理をされておられるのか、ちょっとお聞きしたいのですが。
事務局	これは、セメントを混ぜて、埋立地の方へ持って行っております。
副会長	それから、もう一点ですが、リサイクルプラザの資源物、その左側にあるんですが、スチール缶とアルミ缶ですね。スチール缶は、22年度に比べかなり減少してます。しかし、アルミ缶は増加しているという比率なんですが、これは単純に考えて搬入がアルミ缶の方が増えたと考えてよろしいでしょうか。スチール缶が減って。そう解釈されてますか。
事務局	そういった考え方でいいと思います。
副会長	ありがとうございました。
会長	他ございませんでしょうか。
委員	ごみの総括表、毎年頂いておりますけど、これは提案ですが、あくまでも私たちは廃棄物を減量するにはどうするのかというチームでございますので、ごみの排出量が、いったい何処に手を入れたらいいのかという、その目安ですよ。数字もいいのですが、丸グラフで書かれて、その内、燃やせるごみが約8割、それから、燃やせないごみが何割と円グラフに書かれて、立体的に見られるようにした方が、毎年頂いておりますが、数字ももう少し私たちに分かり易いようにされた方がいいんじゃないかと思えます。それとごみのほとんどが燃やせるごみですね、これをどうしていくかということに力を注いで、例えば、あとの項目が全部0になっても8割位の項目は生ごみですので、これの対策に審議会もしっかりとテーマを絞った方がいいんじゃないかというふうに思えます。ご提案させていただきます。
事務局	ご意見ありがとうございます。総括表につきましては、大変見難い表であるということで、今後、円グラフ等で皆様方に分かり易いような資料も考えていきたいと思えます。それから、先ほどおっしゃられたとおり、燃やせるごみについて、かなり量が増えているというところで、ここをどう減らしていけば良いかということで、今いろいろと3Rの施策に取り組んでいるところでございますが、これから先この燃やせるごみを減らすというところに力を入れて、皆様方と一緒に新しいリサイクル等の方法及びこの検討対策を考えさせていただきたいと思っております。以上です。
会長	それにつきましては、次の議題の所でも、また、関連した3R取組という事で、ご説明いただきますので、また、その時にお願いしたいと思います。

会長	<p>他ございますでしょうか。</p> <p>よろしゅうございますか。</p> <p>それでは、第2番目の議題の方に移らさせていただきたいと思います。いま、ちょうど話題にも上りましたけれど、「3Rの主な取組みの進捗状況について」という事で、本日配られたA4の紙で、資料2と右肩に打たれている分になると思いますけれども、それについて、ご説明をお願いします。</p>
事務局	審議会資料「3Rの主な取組の進捗状況」に基づき説明。
会長	どうもありがとうございました。ただいまの説明、3Rの主な取組の23年度の実績についてですけれども、ご質問等ございましたら、よろしくお願いいたします。いかがでしょうか。
会長	私から一点ご質問させていただきたいと思いますが、一般向けへの講習会が38回で受講者が660人近くいらっしゃるんですけども、これは平成23年度だけの実績ですか。
事務局	はい、そうでございます。平成23年度の実績でございます。
会長	かなり数多く、やられているんですね。
事務局	はい、そうですね。環衛連の皆様のご協力をいただきまして、だんだん広がりつつございます。
会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>実際に実施された方等の、何かお声とかアンケートとかは実施されている、あるいは、実施する予定等ございますでしょうか。まあ、やってみたけど、随分難しかったとか、思ったより簡単だったとか、夏はやっぱり臭いとか、いろいろあるんじゃないかなと思うんですけど。</p>
事務局	<p>私どもで、紙ベースでアンケートを取る形では、今のところ考えておりません。</p> <p>ただ、23年度、講習会に職員が出向きまして、その中でいろいろ、皆様方のご意見等をお伺いして、把握をさせていただいている状況でございます。</p>
会長	ありがとうございます。
委員	<p>段ボールですが、私も今、段ボールコンポストリーダーをやっておるんですけども、宇部市のホームページにも出ておりますように、段ボールコンポストを使ってやられた方は、8割ぐらいの方がもう一回続けてやりたいというデータが出ております。私も4回位やっておるんですけども、この段ボールコンポストの取組、また、自然環境に優しいということで、非常に良い事で、すごい事だと思います。けれども、この78.62%の現状にいかほどの貢献があったのか、これは、だいぶ数字的には厳しいんじゃないかということで、運動としては、大変良いことだと思います。ただ、ごみ減量に繋がるかどうかというのは、確かに繋がるけども、万分の一位の微々たるもので、果たして、これで目標の1人1,000gを切る事ができるかということになると、もう少し他の方向を、これも続けていいと思いますが、他の方向に大きな問題、やるべき事があるんじゃないかと、このように思います。</p>

委員	<p>段ボールコンポストは、お願いとして、ここにちょうど、文教委員さん、文教の委員長も副委員長さんもいらっしゃいますので、その方達が続けていきたい為には、どうしたら良いかと、私も自分の校区でメンバー、リーダーさんとやりました。とにかく、一点は高い。良い事をするのに何でお金がかかるんだと、これが一点、それから、やり方については、やっぱり、市の方と一緒に、一年間、手取り足取り教えていただいた人達は、まず失敗がないと、そして、非常に生きがいとやりがいとそして、貢献しているというものは、非常にすごいパワーというのを感じます。ですが、続けるには値段と、それから、堆肥になって、お庭に入れなさいというのではなくして、昔ありました何か回収する時にトイレトペーパー渡しましたよね、トイレトペーパーで持って帰ってもらうと、出来上がった堆肥を有価で買い取りますとか、市の方でやりますと、こういうのを行政さんの方にしっかりと、委員長、副委員長さんいらっしゃいますので、行政から動かないと予算が付きませんので、こういう所にしっかりと予算を使っていただければ、僕はもっともっと思えます。</p> <p>それと、もう一点最後ですが、段ボールコンポストに対して最後、やはり目標があると思うんです。市の75,000世帯内の何世帯までやるのかと、例えば段ボールコンポストをする家庭を1割にするのか、その辺の数値目標をきちんと決めてやれば、もっと、みんなが積極的に動くし、また、やっている人は非常に喜んでやっていますので、あと、行政の方から援助をしていただければ都合よくいくと、このように思いますので、是非、話を聞くだけでなく実行へ、次年度に必ず、私忘れませんのでどうなったか、必ずお伺いしますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>具体的で、貴重なご意見をありがとうございました。何かございますでしょうか。よろしいですか。</p>
事務局	<p>ご要望として承っておきたいと思えます。また、今後、ごみの減量ということで積極的に取り組む中で、今のご意見を反映させていけるようにしたいと思っております。以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にございますでしょうか。</p>
委員	<p>簡単な質問で申し訳ないんですけど、2番目の廃食油のリサイクル推進ですけど、回収実績は分かりましたが、利用実績というのは、このまま回収した物を、そのまま利用変わらずということなのか、生成しても変わらなかったのでしょうかという質問です。2,3220をそのまま利用したのか、してないのか。</p>
会長	<p>この中からどれ位のバイオディーゼル燃料として、再生された分があって、再生された分は多分全部使われていると思うんですけども、どれ位、バイオディーゼルの方に転換されたか。あるいは、専門的になって申し訳ないんですけども、生成物としてグリセリンがありますよね。そこらへんは、どういう風に、廃棄物として処理されたのか、何かの副原料として、また使われたのか、情報があれば教えて下さい。</p>
事務局	<p>実際、回収量に対しまして、約9割がBDFになると一般的にはされております。その生成物については、どう処理されているかについては、申し訳ございません。把握しておりません。</p>

会長	それについては、実際にやっておられるのはアースクリエイティブさんの方でされているとのことですね。
事務局	はい、そうでございます。
会長	他にございますでしょうか。
委員	昨年度もいろいろ取組みを確認させていただいて、すぐにここで出た事は、自治会の回覧などで反映されているなということで、まあ、いい方向に行っているんじゃないかなと思うんですけど、やっぱり、リサイクルというのは、お金が土台としてかかるところが結構多いと思うんですけど、そこは、行き詰まらないように少しずつ進めていく必要があると思うんですけど、リサイクルっていうことプラス、今回のリユースっていうことが入ってきているんですけど、今後、リユースという面で、他に市が中心となって進めていくような事があるのでしょうか。
事務局	現在、新しいリユースの施策というのは考えておりません。ただ、いまやっている他のリユースの促進ということで、市役所内のさまざまな行事・イベントで、私どもがリユースカップというのを持っておりまして、そのリユースカップの使用ということで、ごみを減量するという事はやっております。今、皆様方の前にあるリユースカップを行事・イベント等で使っております。
委員	まあ、理想的な事を言うようなんですけど、缶とかビンとかリサイクルはしていくんですけど、リサイクルするよりもリユースの方がコストがかからないということで、ドイツの方なんかっていうのは、もう、そういうのをずっと進めているというのも10年前位から聞いているんですけど、せっかくリユースが始まったので、リユースするっていうことは、お店の方達が立ち上がってくださらないとなかなか出来ないと思うんですけど、それをするには、やっぱり行政が進んでいかれた方が良く思うんですけど、もう一声っていうか、もう一つ踏み込んで、その辺の所で、何か出来たら良いんじゃないかなと感じます。なにか人ごとみたいで申し訳ないんですけども。
会長	ありがとうございました。先ほどちょっと、ご意見、一番初めの所であった分なんですけど、例えば、段ボールコンポストがどれ位の件数のご家庭でやっていただいた時に、どれ位のごみの減量となるのか、概算で良ければ出るんですけど、書いてありますように、だいたい家庭から出されるごみの3割、これは重さです。重さで3割程度、その8割が水です。ですので、そういった意味では、それがどれ位減量されれば、どれぐらいのっていうのは、その、一軒当たりに換算する事が出来るので、例えば、宇部市内172,000人の方々の一軒当たり、一軒世帯数の何人位かというのは統計をお持ちだと思うので、そこだけに割り戻して、だいたいどれ位の軒数で、例えば、数%で済む話なのか、一割位もっていかないと全然減らない話なのかというような概算は多分出るんですけど、それで、校区当たり、これ位という割当数をもっていつて、本当にやって下さるかどうかは、かなり、あれかもしれないんですけど、計算上はできるのかなと、あと、それに対して作った物を買取するっていう事に関しては、いろいろやり方はあると思うんですけど、一つは、水分量がそれだけ減っているので、補助燃料が減らせると思うんですけど、で、その概算でその割戻しが出来ないかなと

<p>会長</p>	<p>というような形で、市の予算をさらに増やすこと無く、何か出来たら良いなという事を勝手に、考えておりました、ご検討いただければありがたいなあと。まあ、奥様方は重々お分かりだと思っておりますけど、水切りが悪いと9割が水なんですね。ですから、そういった意味では、随分そこら辺をコンポストに持っていただくだけでも、焼却場での取扱い等が変わってきますので、そこらへん少しご検討を。すぐにどうのこうのという事では無いかもかもしれません。けれども、少しずつでも進めて行っていただければ、ありがたいかなという風に考えております。まあ、ちょっと勝手な意見を申しまして申し訳ありません。</p> <p>他、ございますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>あの、段ボールコンポストの話なんですけど、先ほど言われましたように、一応、最初のうちは、無料で頂いて、いろいろ講習受けまして、続けておりましたけど、これ一つ1,500円での買取りなんです。結構やられてみると、最初は楽しいんですけど、段々と虫が湧いてくると嫌気がさすみたいで、賛否色々あるんですよ。楽しくやっていますという方と、いやこれは大変ですよという方と、それと、一戸建ての家なんかはですね、畑なんかもあるでしょうし、庭も広いでしょうけど、アパート関係になりますと、やりたくてもやれないですよ。これも、古着なんかと同じように、もうちょっと推進してですね。そして、回収場所を決めて、そこに置くという事にすればもう少し増えるんじゃないかと。まして、いま言われたように、これを一つ1,500円で買ってですね、やれと言われてもなかなか厳しいですよ。まあ、その辺はですね、これを1,500円出して買うんなら生ごみで出した方が楽だという声も出ていますので、その辺もよくお考え頂けないかと思っております。よろしくお願ひします。</p>
<p>委員</p>	<p>追加で、今の段ボールコンポストなんですけど、まず、販売方法ですね。買いに行くのに数箇所しかないんですよ。それを、もう少し売りやすく、どこに行っても買えるという、そのまず、販売の仕方というものも、是非検討していただきたいと思ひます。それから、助成の方が出来ないんであれば、もう少し考えられて、安い物を仕入れて、市で斡旋するとか、材料代計算すると、とても1,500円にはならないんです。利益の方があまりに多すぎるんで、ちょっとその辺も考えて、何処で買っていいかっていうのが分からない、それと、回収場所が分からない。ですから、古着と同じように、例えば、センターに回収箱を置いて頂いて、そこに堆肥を置いて帰ると、腐る物ではありませんので、堆肥を置いて帰る。こういう風に大きくルート立ててやれば、市全体、市民全体が動くと思ひますよね。特に、ふれあいセンターというのは、非常に行き来する方が多いんです。いま、特に住民票とかも取れるようになりましたので、古着と一緒に隣に小さくていいので、段ボールコンポストの堆肥の回収場所を。</p> <p>もう一点大事なんですけど、廃食油をですね、今年の委員さんから、今回絶対に言って欲しいと言われて、去年は廃食油の回収場所を検討しますと言われてたのに、一年経つが一軒から何十軒位増えたのでしょうか。私、実際に清水川に持って行くんですが、3回持って行って、2回は入れられません。いつも満タンです。だから、車に廃食油を持って帰る。これを何度も繰り返しています。ちょっと、カッターときたので、業者さんに電話したら、毎週取りに行っていますと、それでもお客さんは持って来られますと、非常にあれを固めて生ごみに出したり、ひどい人はそのまま流しから流し</p>

委員	<p>たり、そういう事される方が結構いらっしゃるんですよ。良い事をしたいというのは、人間の良心であるわけですから、それを大事にしていけばですね。もう一つ提案を変えれば、荒ごみステーションに月一出しますので、そちらにペットボトルに入れておいていただくと。で、当然、業務の方から回収車がないとか、回収の人が足りないとか、すぐ、そう言われます。それに対する対案もあります。それはですね、業者さんに取りに来ていただくんですよ。そうすれば、その日のうちに、翌日に荒ごみステーションから持って帰っていただければ、市の方は、何ら影響は無いと思うんで、月一毎に持って行く。そして、もう一つはセンターに持って行く。古着はうちの校区ですけれども、毎週持って帰ってもらう位、お持ちになられるんですって。ほんとは、最初は、一杯になるのが一ヶ月かかるんじゃないかって、月一荒ごみに出すんだから、そちらに持っていけばいいのだからと言っていた方も、こちらに持って行ったらリサイクルされて、人のため、世のためになるからと言って、わざわざ車でセンターまで持って行かれる姿を見て、ほんと人間というのはすごいなあと感じました。そういう所をしっかり甘えて、いまのダンボールにしても、廃食油にしても、そういう風にされたら、市の方は税金を使わなくていいわけですから、そういう方向だけ、行政と一緒に、また委員さんと一緒になって、各センターさんをお願いをして、段ボールコンポスト、そして廃食油という、三点セットをですね。受付において頂ければ、非常に良いんじゃないかと、このように思いますので、ご返答の方をよろしく。</p>
事務局	<p>先程から、段ボールコンポストの助成、販売方法の改善、堆肥の回収場所を設ける。それから、廃食油につきましては店頭回収の場所を増やす、ステーションの回収が出来ないかという所で、大変たくさんのご意見をいただきありがとうございます。これについては、3Rの推進という所で、総合的に検討させていただきたいと思います。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。 他、ございますでしょうか。</p>
副会長	<p>私の方から、二点ありまして、いまの段ボールコンポストの件ですけど、これはピートモスを使われているやつですよ。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
副会長	<p>他にもですね。私が前から提唱しているんですけど、ミミズのコンポストもあります。ただ、主婦に嫌われるから、嫌だということがある。ただ、非常に効率良いんです。実はね、シマミミズを入れます。京都大学の先生の完全なお墨付きもついてましてね。出来た物がものすごく有能で、堆肥としても、それから土壌改良剤としても非常に有効であると。一つに絞るんじゃなくて、いま言われたように、せっかくお金出して買われるのであれば、ピートモスにするのか、ミミズにするのか選択されてみるのもいいのかなと思っております。それとですね、これは市の補足なんですけど、宇部市はBDFでは県内唯一、バスに使われております。山口県エコ市場という所にも売買されております。で、宇部市のバスの使用状況が非常に評価が高いものでございます。ただ、先ほど言った精製する場所、それから、その費用ですね、そのバランスの問題が多分あるかと思っております。ですので、宇部独自の方法をおやりになるんであ</p>

副会長	れば、この推進、みんなそこでつまづいてBDFが進まないということが、精製の辺にあるようでございますので、オリジナリティーを出すのであれば、エコ市場でちゃんとCO2として売って行く。削減量をですね。そういう事と上手いこと併せてやれば、市民と一体となってやれば、そういう壁を打ち破れるのかなあと思いつつ、聞いておりました。特に山口エコ市場、1t当たり3,000円というすごいお得なんですよ。ですから、それを利用されれば良いと思っております。
会長	ありがとうございました。他ございますでしょうか。
委員	このBDFですね、ここに紙面にバスに使用したと書いてありますが、使用し続けているんですか。
事務局	はい、現在も市内を走っておりますバス1台に使用しております。
委員	利用されているということですね。はい分かりました。
委員	いまの廃食油ですが、業者さん、いま201円でお金を出して回収しています。私は長門まで見に行ったんですけど、非常に良い施設でやっていました。宇部にもあるとのことで、宇部も見ましたが、あまり大きなものじゃなかったですが、そのいまのリサイクルするための廃食油の回収に業者さんが、お客さんに1円を払って回収しているというのを、これをやっぱり、市の方でリサイクル事業の応援として、逆にあげるという風にした方がいいんじゃないかなと思いましたね。私も、自分の所に取りに来てもらった時に、101円払いますというから、いらないと言ったが、いや、そうなっていますという事で言われたんですけども、何か、向こうの現場に行ってみたら、お金出してでも精製すれば、採算が取れると言っていました。やっぱり、そういう所に税金は使った方がいいんじゃないかなという気がしました。市民が良い事をする。いわば、それなりの心もちでいいですから、良くやっていますね。そういうものが廃食油にしても、段ボールにしても、また、古着、古布は難しいですからね。そういう方向でしていく事と、あと、燃えるごみの一番の残渣ですね。食べ物の売り残れとか、それから、食材にする時の葉っぱとか、たくさん未使用の分が相当個々に持ち込まれているようでございます。残飯ですね。これを豚の飼料にしているんです。ここもすごいなあと思ったのが、一日24tの処理が出来るのに、四苦八苦して、皆さんから集めても8t位しかない。非常に機械は立派なんだけど、肝心な材料が入って来ないと。これも、推進委員会が検討してですね。こういう業者、企業にこそ、しっかりと手を差し伸べて、生ごみをそちらに持っていけばいいんじゃないかなと思いましたので、是非そういう所も検討していただきたいと思えます。よろしくお願ひします。
会長	ありがとうございました。その他ございますでしょうか。よろしゅうございますか。それでは、いろいろとご意見頂いた分については、また今後、検討をしっかり進めていくという事で、お願いしたいと思えます。続きまして、最後その他の議題になりますけども、事務局の方で準備されている議題でございますでしょうか。
事務局	その他といたしまして、先ほど議題1の平成23年度のごみの処理実績等におきまして、ごみの排出量が増えている状況、特に燃やせるごみの排出量が増えているということをご報告を申し上げたところでございます。それで、平成23年の2月に策定いたしました、一般廃棄物の処理基本計画におきまして、1人1日当たりのごみの排

事務局	<p>出量を中間目標年度である、平成27年度までに930g以下にするとしております。平成23年度の実績は1,039gという結果でございまして、平成23年度の目標値1,032gに達していないという状況でございます。また、リサイクル率についても、目標値と乖離しているという状況でございます。</p> <p>先程ご説明しましたとおり、様々な3Rの普及促進事業を行っているところではありますが、引き続きこれらの取組を更に強化していくとともに、今後新たな施策の展開が必要であると考えております。そこで、現在、新たなリサイクル事業の検討にあたりまして、まずは、審議会委員の皆様のご意見を頂戴したいと考えております。</p> <p>現在、新たなリサイクルということで、事務局の方で考えておりますのが、水分量が多いとされております、草木及び生ごみのリサイクルでございます。燃やせるごみのうち、草木と生ごみの水分率が80%から90%という風にかかなり高いということで、焼却に係る経費も余分にかかっているという現状がございます。これらの水分を減らす事により、ごみの排出量も抑制できるとともに焼却に係る助燃材を減らす事ができるということは、既にご承知の事と思っております。</p> <p>草木につきましては、自治会単位で排出される日曜清掃の草木類の堆肥化について、今後の可能性を探ってまいりたいと考えております。次に、生ごみのリサイクルにつきましては、一般廃棄物の処理基本計画に定められております分別区分、いま9品目の分別区分がございますが、収集運搬の見直しという事が必要になってまいります。したがって、第一段階と致しまして、ごみの減量とごみ処理経費の削減の効果測定を目的としまして、生ごみの分別収集モデル地区を設定し、ごみの排出、そして、収集から資源化に至るまでの一連の実証実験を実施し、その効果と事業そのものの可能性について、実証データを得たいと考えているところでございます。</p> <p>以上二点について、ご意見を頂戴したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それから、8月25日の土曜日に、「市民と考える市役所ダイエット作戦」というのが開催されます。「市民と考える市役所ダイエット作戦」と言いますのは、事務事業の総点検の一環として、職員自らが、点検した結果に基づく問題点や改善案を仕事見直しサポーターという市民の代表者の方を交えて、公開の場で発表するというものでございます。当日は「生ごみ水切りダイエット」と題しまして、燃やせるごみの含水率を下げる必要性を、市民の方に認識していただき意見交換をする事としております。事務局といたしましては、市民の皆様方に対し、生ごみの水切りの啓発、段ボールコンポストの取組みを更に進めていきたいと考えておりますので、お時間の許す方は是非、傍聴にいらしてください。以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。いま、その他のところでございましたけれども、新たなリサイクルの取組に関して、いまご紹介いただきました。草木類あるいは生ごみに関して、草木に関しては、自治会清掃に関して、それを焼却するのではなくて、他に方法はないか。主には、堆肥化だと思うんですけども、そのような方向での検討、さらに生ごみに関しては、モデル地区を設定しての実証実験という形での、いま検討に入っているような所でございますが、何かご意見をいただければという風に思っておりますので、よろしく願いいたします。いかがでしょうか。</p>

会長	<p>まだ、ちょっと具体的に何処でというようなところとかがないと、なかなか意見が申しづらいところもあると思いますけれども、その二つの新たなリサイクルに関しての検討を進めていく事に対して、ご了承いただければと思いますし、先ほどからいろいろとご提案いただいておりますので、それとも絡む所がかなりあると思いますので、そういう所を検討を進めていただくということで、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>では、そのように進めさせていただければという風に思いますので、よろしく願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>その他、ございませんでしょうか。こちらで、事務局の方で用意した議題としましては、以上でございますが、委員の皆様から何か、この機会にございましたらと思いますけど、いかがでしょうか。その他事項としてございましたら、よろしく願いしたいと思いますが。</p>
委員	<p>今の提案に関して一番の問題は水ですから、この水対策をこういう所にもしっかりと提案して、水対策をどうするのか、女性もいらっしゃるし、主婦の方もいらっしゃいますが、台所の水対策、生ごみを出す時の半分が水なんですから、その対策をもっと具体的に入れたら良いんじゃないかと思うんですよね。これは、お金をかけなくて出来る事ですから、いつもPR版とか裏に書いてありますけど、書いてあるだけじゃあ、いまいちで、今回モデルの中に入れて頂いて、水切りをこうしてやるんだというのも一つ入れた方がいい。パッカー車も二台が一台でいいわけですから、一台は水積んで走っている訳ですから、そういう面では、是非その辺を明記されたら、1,000g切んじゃないかと思いますので、是非よろしく願いします。主婦の委員さんに聞いてみて下さい。主婦の方、水切り対策、是非、どうやっているかという事を。</p>
委員	<p>単純な事ですけど、ごみをビニール袋に入れる時に、下に穴を開けて、少し水を切ってから、ごみを出すようにしてます。はっきり言って、あれだけパンフレットが回っていますけど、現実にごみを出す人を見ていると、そのままバサッと移したら、水を切ってません。だから、ちょっと穴を開けているだけでも、水切り量が違ってくると思いますので、現実にはパンフレットだけでは、年中、水切って、ごみ減量しようとして書いてあっても、うちに何人かアルバイトいますけど、見ていると絶対、そのまま、ビニールに移して捨ててている。その場で目につくと、チェックするんですけど、やっぱり、PRを読んでも、やるって気が皆さん無いようです。</p>
委員	<p>自分でやっているのが、三角コーナーに、市販で売っている、三角コーナー用の網を敷いて、その中に生ごみを入れていまして、出す時に絞って、それ以外の下に溜まってしまふ、流しの所に、それは、手に取って、三角コーナーの網を出す前に入れて、一緒に絞って、そして、新聞紙で包んで出しています。で、多分、回覧版とかで回って来ていますよね。なかなか、見られる方は少ないかもしれないので、自治会単位で具体的にこうして絞って出すと、もっと減るっていう風にやらないと、多分そこまで意識が回らないと思います。以上です。</p>

<p>会長</p>	<p>どうも、貴重なご意見ありがとうございます。やはり回覧版など、いろいろな形でPRっていうのは、いままでは出されてきているとは思いますが、やはりもう少し、実際に具体的にもうちょっとプラスアルファでお見せすることによって、こういう風にやると、実はあと一割切れますよとかですね。一割というのは、一割程切れるかどうかは、ちょっと分からないんですけども、そういう具体的なものをホームページ等でもう少しやってみるとか。印刷物を入れると結構お金がかかってしまうんですけども。多少なりと目に見える所でPRをしていけば良いかなと思っております。そういう所を考えますと、やはりもうちょっと広報のやり方というのも、もちろん見ておられる方もいらっしゃると思うんですけど、人の年代とか性別とか、そういう所にもよっても見る所がちょっと違ったりとかしますので、そういう所で少し広げていけたらなと考えております。よろしくお願ひします。他でございますでしょうか。</p> <p>よろしゅうございますか。それでは、以上で用意していただいた、議題全て終了となりましたので、本日の第47回宇部市廃棄物減量等推進審議会を閉じさせていただきますと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。以上を持ちまして、全ての日程を終了します。皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>